

資本利子税拂込書

第 何 號	何 年 度	大 藏 省 主 管
租 稅	資 本 利 子 稅	何 稅 務 署

Y	円
---	---

頭書ノ金額拂込候也  
何縣何市長

何 某 國  
(其ノ他ノ公共團體又ハ會社等之ニ準ス)

日本銀行何店宛  
昭和何年何月何日

第一號書式(用紙適宜輪廓縱四寸五分  
横三寸二分)

備考

一本書ノ年度ハ拂込ノ日ヲ以テ區別シ記入スヘシ

領收證書

第 何 號	何 年 度	資 本 利 子 稅
-------	-------	-----------

何縣何市長  
何 某 納

(其ノ他ノ公共團體又ハ會社等之ニ準ス)

Y	円
---	---

昭和何年何月何日領收  
日本銀行何店宛

通知書

第 何 號	何 年 度	大 藏 省 主 管
租 稅	資 本 利 子 稅	何 稅 務 署

何縣何市長  
何 某 納

(其ノ他ノ公共團體又ハ會社等之ニ準ス)

Y	円
---	---

昭和何年何月何日領收  
日本銀行何店宛  
何稅務署長官氏名殿

第二號書式(用紙適宜輪廓縱四寸五分  
横二寸三分二枚接續)

備考

日本銀行ハ本書式ノ左側ニ原符ヲ附屬セシムルコトヲ得



昭 和 何 年 何 月 分  
資 本 利 子 税 徴 収 高 計 算 書  
貸 付 信 託 以 外 ノ 分

區 分	支拂金額		支拂未済金額	税額	摘要
	支拂金額	支拂済金額			
何 公 債 利 子					
何 社 債 利 子					
何 産 業 債 利 子					
定 期 預 金					
特 別 管 理 預 金					
通 知 預 金					
當 座 預 金					
計					
合 計					

昭 和 何 年 何 月 何 日  
何 縣 市 町 村 又 ハ 何 會 社

一、支拂ヘキ金額ノ欄ニハ其ノ月ニ於テ支拂フヘキコトノ確定シタル金額ト前月分支拂未済金額トノ合計ヲ掲グルモノトス但シ銀行預金利子ニ付テハ現實支拂ヲ爲シタル金額ノミニヨリ調整スルモ妨ナシ

二、非課税ノ分ニ付テハ一人別明細書ヲ添付スルモノトス

三、第ニ種所得税徴収高計算書ノ税額欄ノ次ニ資本利子税額ノ欄ヲ設ケテ併用シ本計算書ヲ省略スルコトヲ得

第三號書式甲(用紙縦八横五寸五分)

昭 和 何 年 何 月 分  
資 本 利 子 税 徴 収 高 計 算 書  
貸 付 信 託 ノ 分

支拂ヘキ金額	支拂済金額		支拂未済金額	税額		摘要
	支拂済金額	非課税		當初算出税額	内除本利子税額	

昭 和 何 年 何 月 何 日

何々信託會社

一、支拂フヘキ金額ノ欄ニハ其ノ月ニ於テ支拂フヘキコトノ確定シタル金額ト前月分支拂未済金額トノ合計ヲ掲グルモノトス但シ現實支拂ヲ爲シタル金額ノミニヨリ調整スルモ妨ナシ

二、非課税ノ分ニ付テハ一人別明細書ヲ添付スルモノトス

三、第ニ種所得税徴収高計算書ノ税額欄ノ次ニ資本利子税額ノ欄ヲ設ケテ併用シ本計算書ヲ省略スルコトヲ得

第三號書式乙(用紙縦八横五寸五分)



## 資本利子税徴收取扱方

(大正十五年三月二十六日附大藏省主税局長通達)  
(同年同月二十九日大阪稅務監督局通牒)

四月一日ヨリ實施スヘキ資本利子税法ノ取扱方ニ付テハ追テ詳細可及通牒候得共差當リ甲種ノ資本利子税ニ付テハ左記各項ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

- 一、甲種ノ資本利子ニ付テハ支拂期ノ本年四月一日以後ノ分ヨリ其ノ支拂ヲ受クヘキ金額ノ全額ニ課税スルコト、從テ假令四月一日以後ニ於テ利子ノ支拂ヲ爲スモノト雖其ノ支拂期ノ三月三十一日以前ニ係ル分ニ付テハ課税セサルコト
- 二、當座預金中小切手ヲ以テ引出スモノニシテ其ノ利率日歩壹錢(年利三分六厘五毛)ヲ超エサルモノニ對シテハ當分資本利子税ノ徴收ヲ見合スコト
- 三、銀行貯蓄預金ノ利子ニ對シテハ資本利子税ヲ課セサルコト
- 四、甲種ノ資本利子税ト第二種所得税トハ各別ニ税額ヲ算出シ錢位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツヘキコト
- 五、其ノ他ハ總テ第二種所得税ノ取扱ニ準スルコト

## 仕拂ヲ受クヘキ金額カ壹錢ノ場合ノ徴税ニ關スル件

大阪稅務監督局ノ伺ニ對スル主税局長ノ指令  
(大正十五年四月一日大阪稅務監督局通牒)

資本利子税并第二種所得税取扱上支拂ヲ受クヘキ金額カ壹錢ノ場合ハ資本利子税第二種所得税共徴收セサルモ差支無之候條ソノ旨關係銀行ヘ通知相成度

## 定期預金ノ期限經過後ノ利子課税取扱方ノ質問ニ 對スル大阪稅務監督局ノ回答

(大正十五年四月一日)

- 一、支拂期カ三月三十一日以前ニ係ル定期預金ノ利子ヲ四月一日以後ニ於テ支拂フ場合税法實施ノ四月一日以後ノ利子ニ對シテ課税スルハ勿論ナルカ其支拂期ヨリ三月三十一日迄ノ利子ニ對シテモ課税スルコト

## 特別當座預金ノ利子計算ニ關スル注意

(大正十五年四月一日)

- 一、特別當座預金ノ利子計算上三月三十一日迄ノ分ニ對シ決算ノ手續ヲ履マス單ニ計算ヲ爲スノミニテ課税ヲ免レントスル向アルヤニ聞クモ課税ヲ受ケサル爲ニハ決算ノ手續ヲ爲スヲ要スルコト



# 印紙税法

(明治三十二年三月十日  
法律第五十四號)

改正 明治三十四年四月法律第一六號、同四十年三月同第二  
七號、同四十二年五月同第四二號、同四十三年三月同  
第一四號、同四十四年三月同第四一號、大正十一年四  
月法律第四七號、同十二年三月同第一二號、同十四年  
三月同第二二號、昭和二年三月同第七號

第一條 財産權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書帳簿及財産權ニ關スル追認若ハ承認  
ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙税ヲ納ムヘシ

第二條 (削除)

第三條 (削除)

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ、帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ左ノ  
印紙税ヲ納ムヘシ

- 一、不動産、鐵道財團、軌道財團又ハ船舶ノ所有權移轉ニ關スル證書 記載金高五十圓以下ノモノ 貳錢
- 二、消費貸借ニ關スル證書 同 百圓以下ノモノ 參錢
- 三、請負ニ關スル證書 同 五百圓以下ノモノ 貳拾錢
- 四、運送ニ關スル證書 同 千圓以下ノモノ 五拾錢
- 五、備船契約書 同 壹萬圓以下ノモノ 壹圓
- 同 壹萬圓ヲ超ユルモノ 貳圓
- 同 記載金高ナキモノ 參錢

- 六、委任狀 貳錢
- 七、約束手形 參錢
- 八、爲替手形 參錢
- 九、銀行預金證書 參錢
- 十、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ發スル貯金證書 參錢
- 十一、産業組合聯合會、重要輸出品工業組合、重要輸出品工業組合聯合會又ハ輸出組合ノ發スル出資證券 參錢
- 十二、船荷證券 參錢
- 十三、運送貨物引換證券 參錢
- 十四、倉庫證券 參錢
- 十五、保險證券 參錢
- 十六、株券 參錢
- 十七、債券 參錢
- 十八、相互保險會社ノ發スル基金證券 參錢
- 十九、株式申込證券 參錢
- 二十、社債申込證券 參錢



- 廿一、地上権、永小作權又ハ地役權ニ關スル證書 参 錢
- 廿二、使用貸借、質貸借、雇傭、寄託又ハ定期金ニ關スル證書 参 錢
- 廿三、信託行為ニ關スル證書 参 錢
- 廿四、無盡ニ關スル證書 参 錢
- 廿五、定款又ハ組合契約書 参 錢
- 廿六、權利ノ變更ニ關スル證書 参 錢
- 廿七、追認又ハ承認ニ關スル證書 参 錢
- 廿八、物品切手 参 錢
- 廿九、受取書 参 錢
- 三十、質權、抵當權ニ關スル證書 参 錢
- 卅一、前各號以外ノ證書 参 錢
- 卅二、預金通帳 参 錢
- 卅三、前號以外ノ通帳 五 錢
- 卅四、判取帳 五十 錢

證書ニ金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價額ノ單位其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第五條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

- 一、官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
- 二、官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書、帳簿
- 三、國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書
- 四、慈善又ハ公共事業ノ爲ニスル寄附ニ關シ官廳又ハ公署ニ提出スル證書
- 五、小切手
- 六、産業組合ノ發スル出資證券若ハ貯金通帳又ハ住宅組合ノ發スル出資證券
- 七、記載金高拾圓未満ノ約束手形及爲替手形
- 八、貯金通帳積金通帳又ハ積金證書（貯蓄銀行法第一條ノ貯金又ハ積金ニ付發スルモノニ限ル）
- 九、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ發スル貯金證書ニシテ其記載金高拾圓未満ノモノ
- 十、記載金高壹圓未満ノ物品切手
- 十一、賣買仕切書
- 十二、物品又ハ有價證券ノ賣買契約證書
- 十三、送狀
- 十四、記載金高拾圓未満若ハ金高記載ナキ又ハ營業ニ關セサル受取書
- 十五、主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約書
- 十六、手形及證券ノ裏書又ハ之ニ併記シタル受取書
- 十七、株券又ハ債券ニ記載シタル讓渡ノ證明書



- 十八、手形ノ引受及保證
- 十九、手形又ハ證券ノ拒絶證書
- 二十、手形又ハ證券ノ複本及謄本
- 廿一、農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券
- 廿二、質札又ハ質物通帳（質屋營業者ノ發スルモノニ限ル）
- 廿三、勤務通帳
- 廿四、乗車券、乗船券又ハ各種入場券
- 廿五、第四條第一號乃至第五號及第三十一號ノ證書ニシテ記載金高拾圓未満ノモノ
- 第六條 印紙稅ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ印紙稅額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ稅印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得
- 第七條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス
- 第八條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スルトキハ內國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
- 第九條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ
- 第十條 印紙ヲ貼用スヘキ證書、帳簿ニシテ營業ニ關スルモノハ當該官吏之ヲ検査スル事アルヘシ
- 第十一條 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第六條但書ニ依リ稅印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ證書帳簿一箇毎ニ脫稅高二十倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ脫稅高二十倍ノ金額參圓ニ達セサルトキハ參圓ノ科料ニ處ス

- 第十二條 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ貳圓以上ノ科料ニ處ス
- 第十三條 第九條ニ違背シタル者ハ證書、帳簿一箇毎ニ貳圓以下ノ科料ニ處ス
- 第十四條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法中犯罪ノ不成立、刑ノ減免、併合罪及酌量減輕ノ例ヲ用キス但シ第十二條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十四條ノ二 證書、帳簿ノ作成名義人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人等カ名義人ノ爲ニ作成スル證書、帳簿ニ關シ本法ニ違反シ之ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ其ノ名義人ヲ處罰ス
- 第十五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
- 第十六條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ハ此法律施行ノ日ヨリ廢止ス
- 第十七條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ税金高以上ニ之ヲ使用セムトスルトキハ其ノ不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ
- 附 則 （大正十二年三月法律第十二號）
- 本法ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 本法施行前作成シタル證書又ハ帳簿ノ印紙稅ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル
- 附 則 （大正十四年三月法律第二十二號）
- 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年八月勅令第二百六十八號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）



附 則 (昭和二年三月法律第七號)  
 本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 本法施行前作成シタル證書又ハ帳簿ノ印紙税ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

<p>昭和二年十二月五日印刷          昭和二年十二月十日發行</p>	<p>【定價壹圓五拾錢】</p>
<p>不許複製</p>	<p>編輯者 伊藤由三郎          發行所 大阪市北區會根崎中二丁目一九番地          印刷者 足利迅城          印刷所 大阪市東成區林寺町九三番地          財團法人弘濟會印刷部</p>
<p>銀行信託法規舉行</p>	<p>發行所 銀行問題研究会</p>
<p>發行所 大阪市北區會根崎中二丁目一九番地</p>	<p>電話 日座大阪六〇三九二番          電話 北三三〇五番</p>

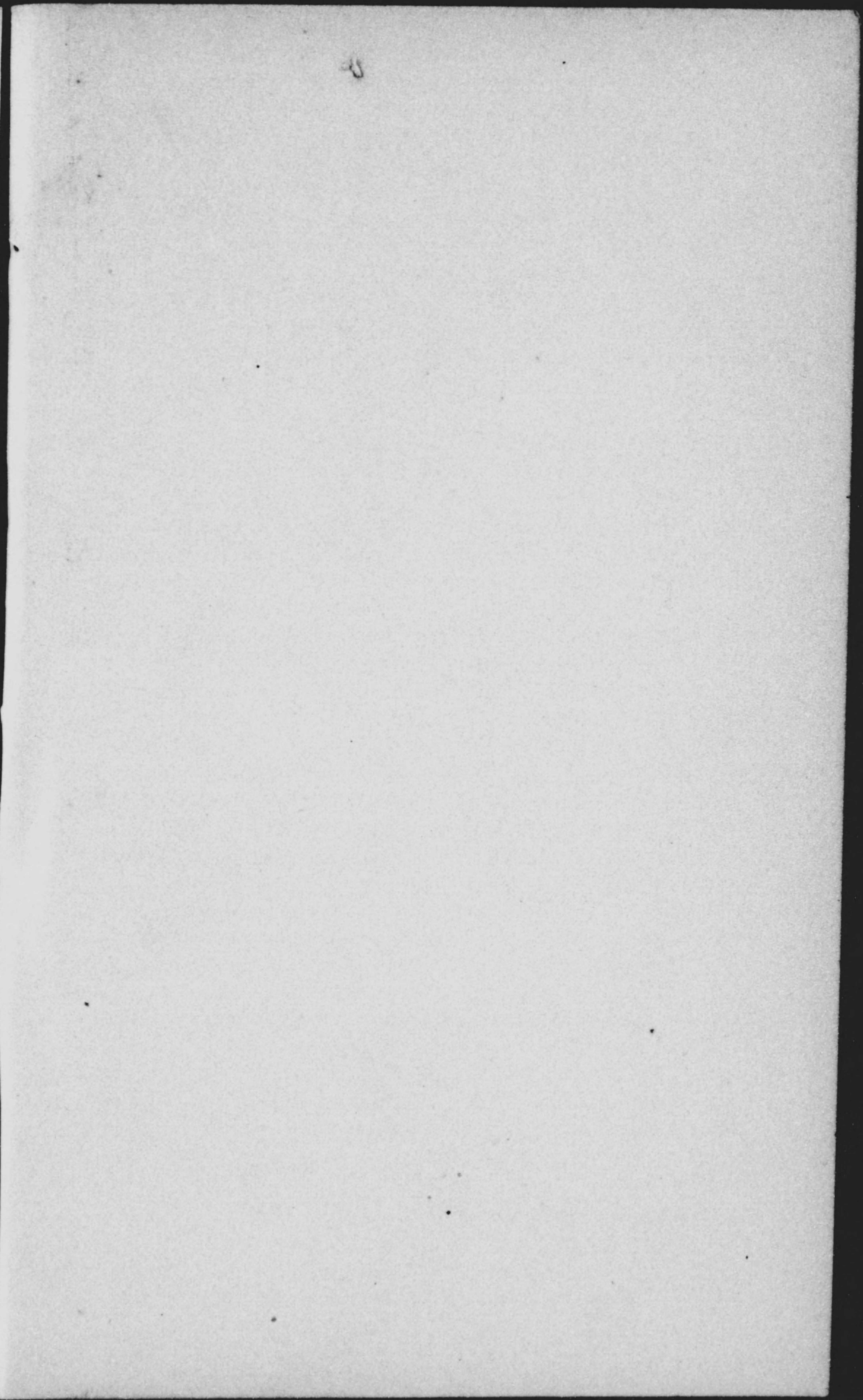
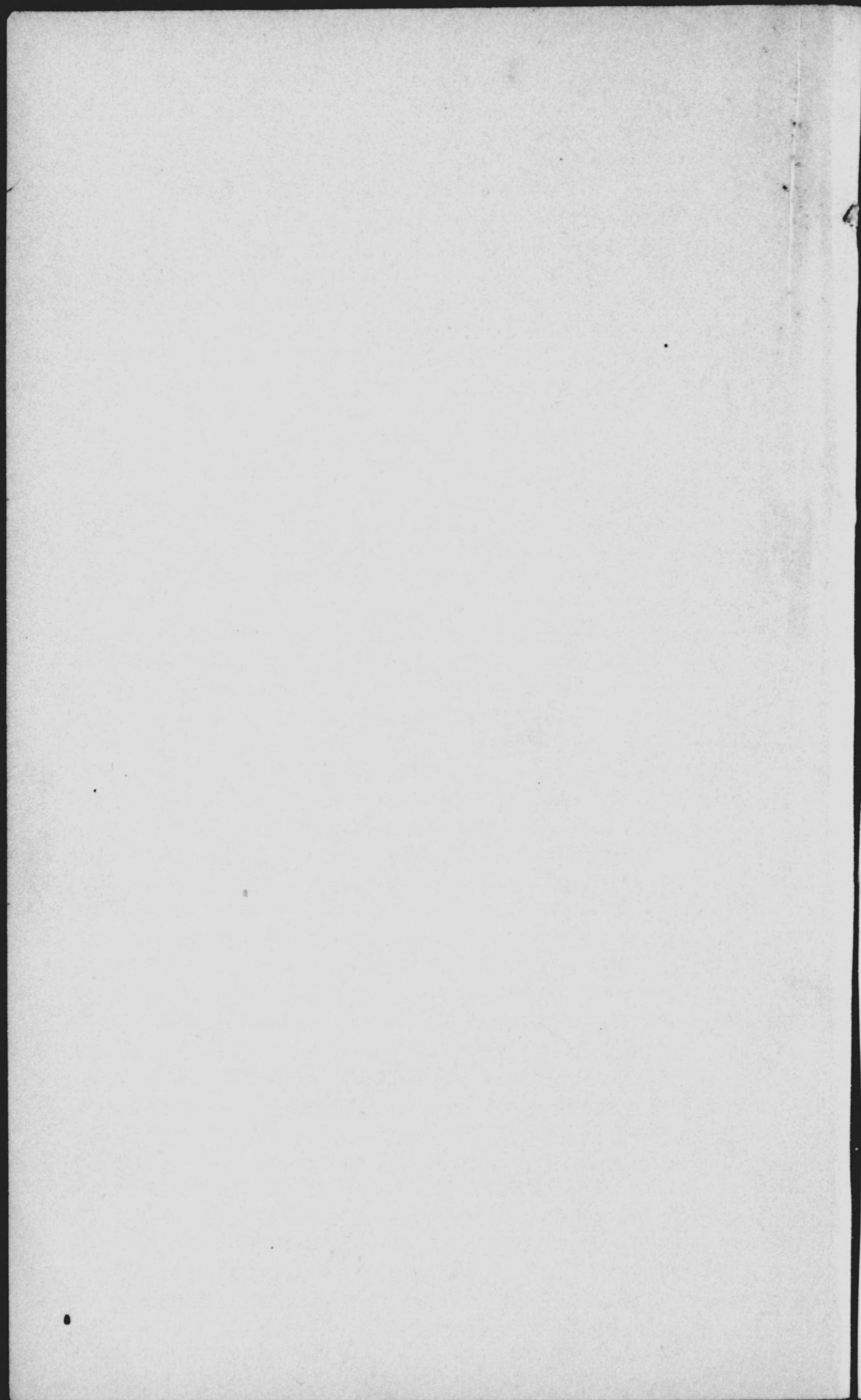


月刊雜誌	銀行論叢	定價半年三、六〇〇	送料不要
銀行問題	六ヶ月銀行實務講義錄	定價一ヶ月一、〇〇〇	送料不要
研究會編輯	銀行家如何にして成功す可か	合本定價一、五〇〇	送料〇六
荒木秀一著	預金吸收策の研究	定價二、二〇〇	送料〇六
荒木秀一著	成功讀本	定價一、〇〇〇	送料〇四
山本正志著	株式金融論	定價一、五〇〇	送料〇八
荒木秀一著	内國爲替實務	定價三、〇〇〇	送料一八
伊藤由三郎著	銀行出納實務	定價二、五〇〇	送料一二
中村光次著	統計學要論	定價二、八〇〇	送料一二
キン市郎著	昭和金融恐慌史	定價一、二〇〇	送料〇八
伊藤由三郎編	労働運動と労働銀行	定價一、八〇〇	送料〇六
木村秀太郎著	英國金融市場論	定價二、八〇〇	送料一二
奥田勳著	銀行預金實務	定價三、五〇〇	送料一八
坂井正著			

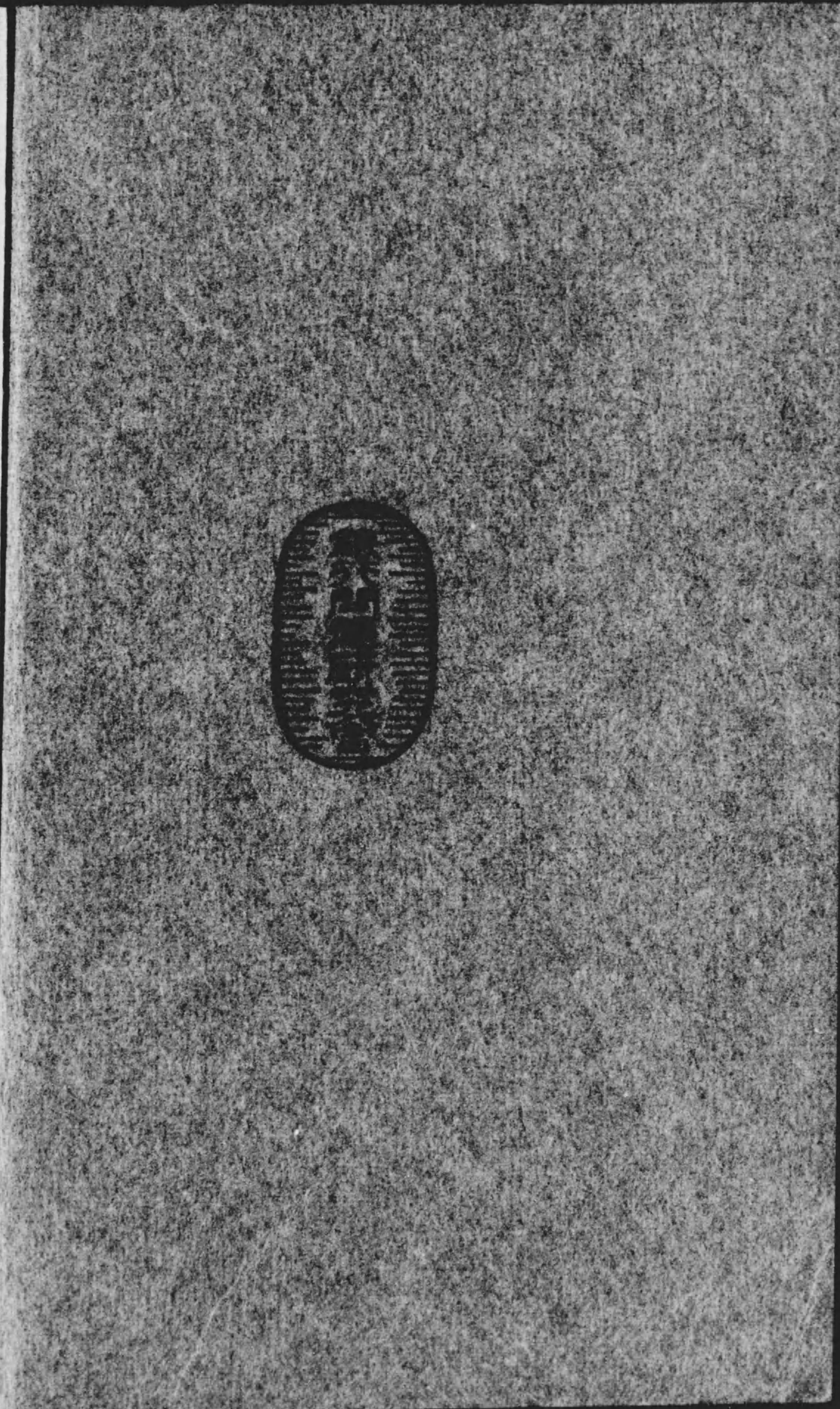
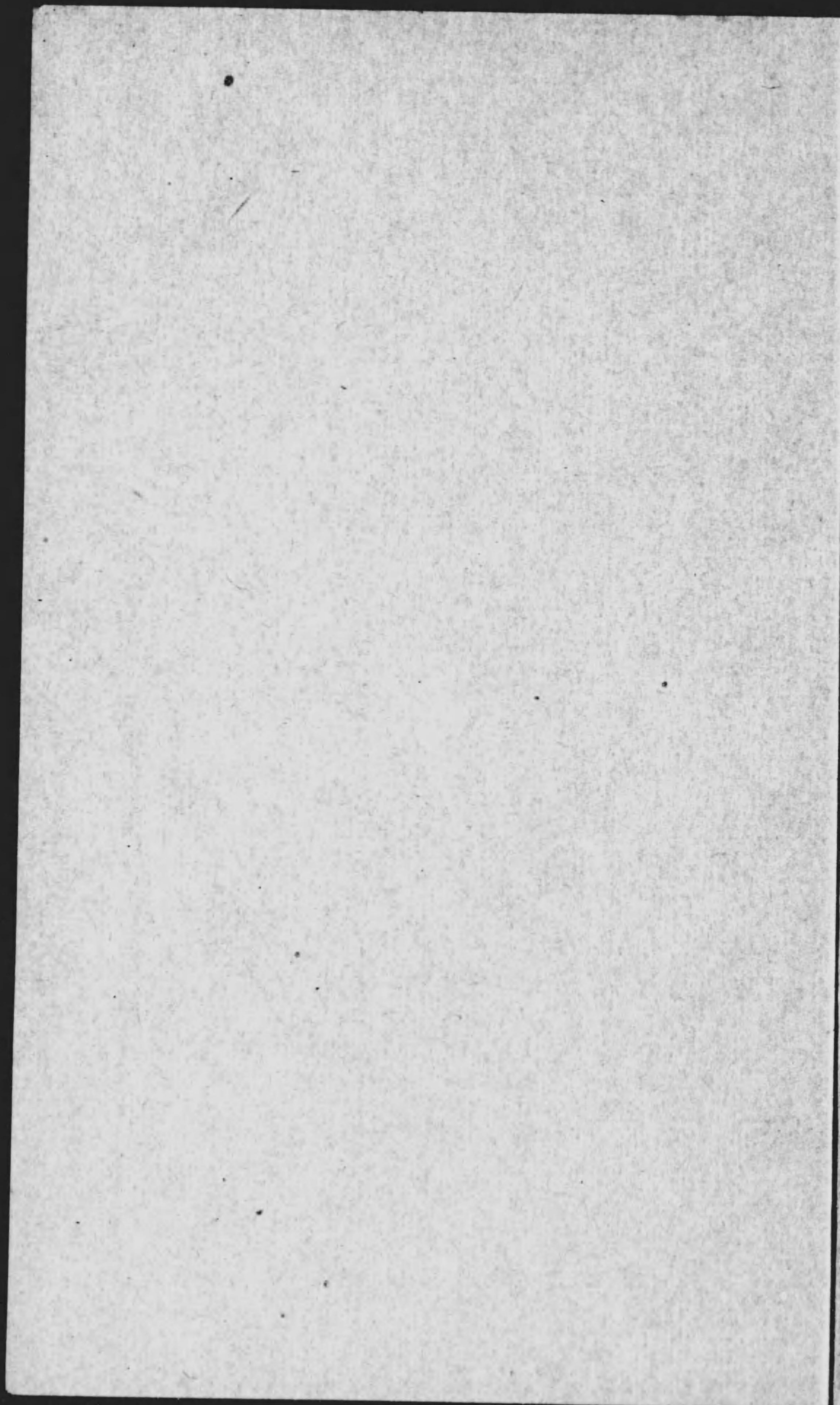
大坂市北区會根崎中丁十九番地

發行所 銀行問題研究所 電話北三三〇五 電報六〇三〇九











14.7  
397



